

市議会議員

かけのまち子

電話/Fax 53-7727

kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員

みわ 陽子

電話/Fax 54-6712

yokko0520mi@yahoo.co.jp



No.581 2025.10.2

日本共産党江南市委員会

あすの江南

元市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753

元市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

日本共産党江南市議員団 HP



検索

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください



物価高騰下の市民生活を守れ

2024年度一般会計決算認定など、4議案に反対

江南市議会9月定例会は、9月26日(金)に閉会しました。日本共産党議員団は提案された19議案と1請願、2意見書案に対し市民の立場で討論を行い、2024年度一般会計決算認定などの4議案に反対し、残りは賛成しました。議案は全て原案

通り可決成立しました。

最終日の討論は党議員団HPに掲載しています。市議会公式YouTube 9月26日午後の部分でも視聴できます。

かけの議員

ゆき詰まった新たな公共交通の導入

市は北部地域に新たな公共交通を導入するため、地域懇談会を3か所で開催しました。しかし、検討のための部会は1年間開かれていません。どのように再開するのか、また実証運行の目的を質しました。

実証運行のめど未定と答弁

市当局は「地域懇談会の意見では、バス停の位置は徒歩5分以内、乗り継ぎはしたくない、料金は1乗車500円以内が多数。新たな公共交通は70%が必要との回答だった」



「検討部会長の助言を受け、今後は2025年度の公共交通基礎調査からニーズを把握し、基本方針を示す段階で検討部会を開催する。実証運行は運行形態が決まらないため未定。導入が決まった場合は、運行事業者と協議し実証運行の時期を検討する」と答弁。新たな公共交通は、際限のない先送りの末、頓挫するおそれまで出てきました。

公共交通の財源として

特別交付税 3,600万円

公共交通基礎調査では、名鉄バス補助路線といこまいCARの維持に現在投入している年間9700万円の税金の妥当性を問う質問がありますが、意図不明の後向きな質問です。

公共交通には財源の手当てがあり、地域経済活性化や医療費削減などの効果で費用は回収できることを示し、実証運行まで進めるよう求めました。

市は「特別交付税として2024年度は3600万円が交付された」と答弁。公共交通に財源措置があることを認めました。(*従来、運行経費の8割が特別交付税で補てんされていましたが、数年前から財政力を反映させた計算式に変更、減額になりました)

2024年度一般会計決算の反対討論 みわ議員

無駄使い、ため込みやめて市民のために税金使え！

2024年度は物価高騰で市民が苦しい生活を余儀なくされている中、実質収支額は15億円以上あり、実質単年度収支も8億円の黒字決算でした。

4月分の給食費無償化、公共施設の照明のLED化、いこまいCARと福祉タクシーの迎車料金補助など市民のための施策もありましたが、これらは財政規模に比べて小さく、無駄使いやため込みが目立つ決算となっていました。

まず自治体情報システム標準化のために約2億3千万円('25年度にはさらに7億円の予算)、布袋東部280号線の改良整備約1億2千万円('25年度にはさらに1億4千万円の予算)、企業庁主体の事業(予定)で、周辺整備などに市が多額の財政投入する曽本地区工業用地整備は法人市民税の回収に88年かかると試算されている事業で約1千万円など、適正とは言えない税金の使い方が多くみられました。

ため込むのではなく、給食費無償化を広げるとか、高すぎる国保税に一般財源を入れるなど市民のために使うべきと決算認定に反対しました。

みわ議員

誰もが使いやすい保険証に

国民健康保険や後期高齢者医療の紙の保険証が7月末で期限切れとなり、マイナ保険証での受診が原則とされました。マイナ保険証以外の受診方法について確認しました。

「紙の保険証と同じ形の資格確認書。また、資格に変更がないかぎり、暫定的に2026年3月までは期限の切れた保険証でも受診できる」との答弁でした。

マイナ保険証の電子証明書は5年で切れるため、期限切れトラブルが起きた時の対応について質しました。「期限切れ後3か月は使用可能で、証明書の更新をすれば2日後には使える」との答弁でした。

マイナ保険証の使用率が3割程度にもかかわらず紙の保険証を廃止するという強引な国の進め方が混乱を招いています。

紙の保険証廃止を撤回して、紙の保険証とマイナ保険証、使いやすい方で使えるようにすべきと提言しました。

